

太平山観光開発株式会社 第三セクター等経営健全化方針

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年3月28日
作成担当部署 秋田県秋田市建設総務課

2 第三セクター等の概要

法人名 太平山観光開発株式会社
代表者名 中野 鋼一
所在地 秋田市仁別字マンタラメ213番地
設立年月日 昭和43年8月28日
資本金 50,000千円【秋田市の出資額（出資割合）235,100千円（50.7%）】
業務内容 太平山リゾート公園施設等の管理運営

3 経営状況、財政的なりスクの現状及びこれまでの地方公共団体の関与

当該法人は、第三セクターとして平成3年度から太平山リゾート公園施設の管理運営を担っており、運営形態変更後の平成18年からも引き続き指定管理者として施設の管理運営を行っている。

経営状況については、平成18年度以降黒字を続けていたが、平成29年度は、暖冬少雪によるスキー場収入の減少及び光熱水費の上昇により赤字決算となった。

なお、債務超過の要因となっている市からの借入金については、返済計画に基づき毎年返済が行われており、平成36年度で完済予定となっている。

また、現在、自己資本比率がマイナスとなっているが、今後も計画どおりに返済された場合には、平成33,34年度にはプラスに転じ、債務超過団体から脱却できる見込みである。

4 抜本的改革を含む経営健全化の取組に係る検討

当該施設は、県内外から年間約32万人を超える利用客があり、市民の憩いや健康増進などの交流の場として重要な役割を担っている。

対象法人の経営健全化については、利用者数や客単価が減少傾向になっていることから施設の利用促進を図るとともに、単価高騰に伴う光熱水費の増加が見込まれるため、繁閑に応じた人員配置と管理経費の縮減に努めるなど運営効率を向上させる。

また、飲食・物販等の事業に加え、造園・土木事業などの拡大により収益の確保に努める。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

経営健全化に向けた対応方針として、指定管理事業と自主事業の両立によって、施設の利用促進と収益確保に努める。

- 指定管理事業は、公共施設を適切に管理運営し、施設の利用促進を図ることで利用料金収入等を増加させるとともに管理経費の縮減に取り組む。
- 自主事業は、環境や利用者ニーズの変化に対応するため、事業の見直しを含め、収益性を高めていく。
- 事業共通項目として、経営改革の推進や人材育成と意識改革に加え、経営課題は、市と協議、連携を図りながら解決し、事業収益をもって健全化を図る。

(参考)

6 法人の財務状況

貸借対照表から	項目	金額(単位:百万円)税抜		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	資産総額	86	96	82
	(うち現預金)	38	73	55
	(うち売上債権)	42	17	21
	(うち棚卸資産)	6	6	6
	負債総額	139	142	136
	(うち当該地方公共団体からの借入金)	108	96	84
	純資産額	▲53	▲46	▲54

損益計算書から	項目	金額(単位:百万円)税抜		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度
	経常収益	581	630	619
	経常費用	576	622	626
	経常損益	5	8	▲7
	経常外損益	▲2	▲1	0
	当期純損益	3	7	▲7